

- ◆ とても良い案とは思えない。
- ◆ 計画道路の見直しなど、復旧計画が難航している中で、公園・緑地等の用途の案が出たことに、違和感を覚えた。
- ◆ 公園案は示されたが、住民の話し合いで、今後進めるべきものなので、現状での判断はできない。

(2) これまでのワークショップ全体を通して質問やご意見があれば教えてください

- ◆ 「獲得目標が見える」とあるが、公園の位置が特定できずに、何もわからないで終わってしまった。住民が一人でも多く帰ってくるのが一番大事であると思うが、帰る場所がないのに、帰った人が使うであろう公園の話が出てくることに違和感がある。
- ◆ 実現できるかは別として、さらなるアイデアなどをとりいれて作っていただけたらと思います。
- ◆ 次年度もあればもっと多くの住民に参加して頂くための対策をしてはどうか。
- ◆ 担当された方々に感謝します。ワークショップに慣れていない方も多く反対的な意見も出ていましたが、相手を尊重しながら意見を言い合える、ワークショップのような場が定着すると最高です。ありがとうございました。
- ◆ 今の状況を考えると、被災者は帰りたくても帰れない、生活再建もままならない。川や道路だってどうなるかわからない。そんな状況の中での公園のワークショップは時期尚早であると言わざるを得ない。
- ◆ これから住む人の事を考えて下さい。
- ◆ 新たに整備すべき住宅地や計画通路とのバランスも大事だけれども、宅地やライフラインの復旧が先決だと思う。
- ◆ 公園ワークショップ自体が復旧・復興との中での位置付けが不明確。公園だけ先行している感がある。

(3) その他自由意見

- ◆ 10数人程度の出席者の意見が全体の意見としてとらえないでいただきたい。公園のWSでなく、復旧復興の意見を当初から聞き直し、進めなければ被災者は戻らない。
- ◆ 子どものいる家庭ですと、なかなか「話し合い」に参加は難しいこともあると思います、今後、小さな子のいる家庭のご意見を伺う際には、何かよい方法がないかと思ひます。
- ◆ 1年後、2年後など周年単位で達成度のチェックなど開催してはどうか。
- ◆ 私は自分の中で6つの忘れてはいけない日を心の中にひめている。6/23沖縄戦終了の日(沖縄の慰霊の日)、8/6広島原爆の日、8/9長崎原爆の日、8/15終戦記念日(敗戦の日)、7/3伊豆山土石流発生の日、2/7北方領土の日。寄り添いながら生活を構築したいと考えています。よい機会を与えてくださり感謝申し上げます。
- ◆ 住民本位の、住民のための復旧復興を是非お願いしたい。
- ◆ もっと話し合い、相談が必要。
- ◆ 全体的な復旧・復興計画の点検、見直し、住民意見表明の場を設けるべきである。

3. ワークショップ結果の活用

ワークショップでいただいたご意見を参考に、地域の皆様との話し合いを重ねながら、今後の公園緑地整備を進めてまいります。

◆お問合せ◆ 熱海市役所 観光建設部 都市整備課 復興調整室

〒413-8550 静岡県熱海市中央町 1-1

TEL 0557-86-6489/FAX 0557-86-6429 メール：fukkou@city.atami.shizuoka.jp

かわら版

第3回

一日も早い生活再建と、よりよい伊豆山地区での暮らしの再生に向けて

伊豆山復興まちづくりワークショップ -公園緑地編-

発行：令和5年9月

伊豆山復興まちづくりワークショップ-公園緑地編-を開催しました！

復興基本計画及び復興まちづくり計画に基づき、より良い伊豆山地区での暮らしの再生に向け、これからの伊豆山地区に必要な機能や施設について考えることを目的に、意見交換をしていただきました。ワークショップ後には、齊藤市長よりご挨拶いただきました。

日時：令和5年8月26日(日) 13:30~15:30
場所：熱海市役所第1庁舎4階 第1会議室
参加者：10名



1. ワークショップのテーマ：持続可能な施設か確認・検討する

これまでのワークショップでの検討内容、「いずさんアンケート」を踏まえ、公共空地の整備イメージVR(3箇所の公共空地各2案)を作成しました。整備イメージVRに対する感想とご意見、公共空地を末永く使う方策、実現が難しい機能や施設は、伊豆山地区全体でどのようにすれば実現できるかについてご意見を伺いました。※ワークショップの検討内容は、今後の計画を決定するものではありません。

A 班

■上流A案

【ご意見・アイデア】

- ◆ 車の動線、回遊性を考えた場所に
↑
◆ 道路網の整備と合わせた計画

【末永く使うために】

- 市に求めること
 - ◆ 市民の方々が協力しやすい整備をしてほしい(水場が近い等)
 - ◆ 春夏秋冬、イベントに合わせて市で管理
- 自分たちができること
 - ◆ 市民と一緒に。
 - ◆ 花だんの管理、実際は大変。
 - ◆ 盆おどりの前の草刈り←今やっている。
 - ◆ トイレの日常管理。

■上流B案

【ご意見・アイデア】

- ◆ 歴史を感じられる東屋(日かげは必要)。
- ◆ 周囲の緑の雰囲気と合わせた緑。
- ◆ すべり台大丈夫！！
- ◆ 防災機能があってもよい。
- ◆ どこかの公園には遊具が欲しい。

■中流①A案

【末永く使うために】

- 自分たちができること
 - ◆ トイレの日常管理。
 - ◆ 市民と一緒に。

■中流①B案

【ご意見・アイデア】

- ◆ バスケットと芝生広場を半々で、
- ◆ 大きな子と小さな子が安全に遊べる。
- ◆ トイレはほしい。
- ◆ 芝でもよい。
- ◆ 防災機能はとてもよい。
- ◆ 湯河原では19時頃までバスケットをやっている子供がいる(防球フェンスあり)。

■中流②B案

【ご意見・アイデア】

- ◆ 人が戻ってきてから考えるべき。
- ◆ 将来的に戻ってきた人の意見を考えてつくる。
- ◆ 移動販売車のスペース重要。
- ◆ 休けいスペース、ベンチはありがたい(祭り)。
- ◆ 防災機能があってもよい。



B 班

■上流 A 案

【ご意見・アイデア】

- ◆ 更地にしておく←次世代につなげるように。
←住環境再建が先決。
- ◆ 観光客、車で遊びに来る人のイメージは違う。
- ◆ 従前より交通量・大型車はさげたい。
- ◆ ここで生活する人のことを考えてほしい。
↑
- ◆ 計画道路に対する説明や議論も足りていない。
- ◆ 生活再建がままならないまま公園の議論もできない。
- ◆ 何が欲しいということだけでなく、まちの雰囲気が変わりすぎるので受け入れられない。
- ◆ 市が責任をもって聞いた意見を、将来整備してくれる、約束を欲しい。
- ◆ 今、決める必要はない。
- ◆ 植木が無い、日陰が作れないと夏困ります。
- ◆ 植木が欲しい(避暑地を確保するため)。
- ◆ 復旧・復興と併行して住民の意見集約し整備する。
- ◆ 更地にしておく。

■上流 B 案

【ご意見・アイデア】

- ◆ 更地にしておく←次世代につなげるように。
←住環境再建が先決。
- ◆ 住宅再建の課題解決が先決であり、公園の検討、イメージについては時期尚早ではないか。抵抗を感じる。近隣に住む人の気持ちを考える。
- ◆ 遊具が全てに入っているのはどうなのか。
- ◆ もっと車が入ってくるのであれば、落ち着いた空間になってしまう。
- ◆ 花緑が足りない。
- ◆ 時間・説明が必要。住民の意見を聞いてほしい。WS参加者だけでは決められない。
- ◆ 更地にしておく←次の世代につなげる。
- ◆ 安らぎが感じられない。
- ◆ 草木、花を一年通して管理できるか否か。
- ◆ すべり台の管理はちゃんとできるのか。事故があった時の責任は？

【未永く使うために】

○市に求めること

- ◆ 花は一年中咲いている訳ではない。ちゃんと一年中きれいに管理できるのか。
- ◆ 清掃・維持は市(全ての箇所)に共通。
- ◆ 維持管理の役割分担をはっきりさせる。地元で期待しすぎると管理が行き届かなくなる。

■中流①A 案

【ご意見・アイデア】

- ◆ 新たに確保すべき住宅地とのバランスは如何に？
- ◆ 遊具が全てに入っているのはどうなのか。
- ◆ ボール遊び、ネットは中途半端。狭い。
- ◆ 住環境・管理道路・計画道路を敷地内に整備できるか。
- ◆ 更地にしておく。
- ◆ WSの出発点を明確にして上で地元説明に入って欲しい、入る事。※場所を限定していない計画道路の問題、隣接地との関係。
- ◆ 今年度戻ってこられるのは19世帯のみ→公園の整備よりも生活の整備が先に行われるべき。
- ◆ 住宅との関わりが明確でないまま議論できない(ボール遊びの騒音が懸念)。
- ◆ 復旧・復興と併行して住民の意見を集約し整備する。

【未永く使うために】

○自分たちができること

- ◆ コミュニティー、地域の方とお話し。

○市に求めること

- ◆ 施設のメンテナンスは如何に？
- ◆ 清掃



整備イメージ VR

■中流①B 案

【ご意見・アイデア】

- ◆ 新たに確保すべき住宅地とのバランスは如何に？
- ◆ 遊具が全てに入っているのはどうなのか。
- ◆ 住宅再建前に公園の議論はできない。
- ◆ もっと多くの避難している人(200人)の意見を聞いてもらいたい。
- ◆ WS参加者意見を代表意見として扱われると困る。
- ◆ 住民の意見が聞かれず、代表の意見だけで決まるのは困る(復興計画)。
- ◆ 岸谷会館の防災拠点と統一しては(炊き出し)。避難路を要議論。
- ◆ 防災機能を岸谷会館を含めまとめる必要があるか。
- ◆ 更地にしておく。
- ◆ 避難地を確保できるか否か。
- ◆ 今までのクラブ(岸谷)みたいな規模のものはない→拠点が必要。
- ◆ 避難は200世帯以上あるが、WS参加の約10世帯のみの意見を切り取られても困る→被災者の意見を聞くべき。

【未永く使うために】

○市に求めること

- ◆ 施設のメンテナンスは如何に？
- ◆ 清掃

■中流②A 案

【ご意見・アイデア】

- ◆ 復旧・復興と併行して住民の意見をまとめて整備する。
- ◆ 更地にしておく。

■中流②B 案

【ご意見・アイデア】

- ◆ 遊具が全てに入っているのはどうなのか。
- ◆ 3つが機能的にしっかり果たす必要がある。住む人によって変わってくるのでは。
- ◆ 更地にしておく。



2. ワークショップのふりかえり ※いただいたご意見を原文のまま掲載

(1) 本日のワークショップの感想を教えてください

- ◆ 映像をご用意いただけてイメージしやすかったです。もちろん緑地用の土地が決まってから具体的な話を進めてほしいと思います。今回は、可能な場所であったら、という前提で意見を出させていただきました。
- ◆ 3回とも楽しく参加させていただきました。ありがとうございました。
- ◆ Aグループとしては前向きで良かった。公園、緑地に特化した話し合いができた。
- ◆ なごやかなムードでディスカッションがすすんで本当によかった。担当の方々にも感謝です。WSでは欲しい機能や施設をそのまま上げさせてもらいましたが、子供たちの遊び場やボール競技(テニスやサッカー)など、既存の周辺施設(民間施設含む)とのバランス(周辺と同じ施設が被らないように等)を考えて検討を進めて下さい。伊豆山地区だけでなく市域全体での伊豆山の役割も考えて、復興を進めてほしい。自然に配慮した計画・整備を進めてほしいです。
- ◆ 1回、3回目と参加しましたが、とても奥の深い問題だなあと感じました。他の参加者から「公園はいらないよ」との声が有り、伊豆山に公園が無い、市長さんをお願いしたら「姫の沢に行くと行われた」という事、感じました。戻って来る住民、小さい子供の声などが反映される計画になると良いなあと。
- ◆ 被災者の思いが少し前面に出てきた気がして、その点では良かったと思う。公園のことは生活再建ができて初めて考えられることで、元の所に帰れないのに公園のことなど考えられる訳がないと思う。このワークショップの中で、いろいろな方の意見を聞くことができたことは、良かったと思う。